

さいとう直子 活動の足跡です！

- 2/24 (月) 本会議 開会
- 2/25 (火) 本会議
- 2/27 (木) 衛生センター組合議会
- 2/28 (金) 一般質問通告
- 3/1 (土) 中央公民館まつり
- 3/4 (火) 本会議
- 3/5 (水) 本会議
- 3/6 (木) 本会議 一般質問
- 3/7 (金) 本会議 一般質問 (登壇)
- 3/9 (日) 美笹公民館まつり
- 3/10 (月) 本会議 一般質問
- 3/11 (火) ~ 13 (木) 文教経済常任委員会
- 3/14 (金) 戸田中学校卒業式
- 3/15 (土) 郷土博物館「生活うつりかわり展」
- 3/16 (日) 少年野球大会
- 3/17 (月) 交通環境対策特別委員会
- 3/18 (火) **新曽保育園 開園式**
- 3/24 (月) 戸田南小学校卒業式
本会議 閉会
- 3/26 (水) 社会教育委員会
- 3/28 (金) 簡易福祉事業団解散式
- 3/30 (日) ソフトボール大会開会式
- 4/4 (金) 県議出陣式
- 4/8 (火) 戸田南小学校入学式
戸田中学校入学式
- 4/10 (木) 戸田看護専門学校入学式
- 4/12 (土) 戸田南小学童保護者会
- 4/13 (日) 統一地方選挙 県議会
- 4/15 (火) **友好交流推進委員会**
- 4/20 (日) 戸田藤青年会議所 5周年記念
- 4/21 (月) 衛生センター組合議会
インディアカ 春季大会開会
- 4/25 (金) 議会だより委員会
- 4/28 (月) 回会議
- 5/1 (木) 助役応接室 陳情書提出立ち会い
- 5/2 (金) 議会だより委員会
- 5/5 (月) こどもの国祭り
- 5/6 (火) 戸田公園駅立ち
- 5/7 (水) 戸田公園駅立ち
文教経済常任委員会市内学校視察
- 5/8 (木) 南小学童一日体験
- 5/10 (土) 高砂会総会
- 5/12 (月) 戸田公園駅立ち
- 5/13 (火) ~ 15 (木) 文教経済常任委員会視察
- 5/18 (日) 戸田中央総合病院研修学会
- 5/21 (水) 議案説明会
人権推進協議会総会
- 5/22 (木) 駅ミニコンサート会議
- 5/23 (金) 転入女性交流パーティー in 戸田
第19回戸田市小学校陸上運動会
- 5/26 (月) 国体実行員会総会
- 5/28 (水) 国民健康保険運営協議会
- 5/29 (木) 文教経済常任委員会市内学校視察



3月18日 新曽保育園開園式

定員を増やして移転新築した新曽保育園の園児達が笑顔いっぱいに迎えてくれた落成式。見通しもよく広々とした室内はピカピカしていて、安心感と温かさが伝わってきました。子育て世代の多い中、戸田市でも保育園の需要は高く、これまでに可能な限り定員枠を広げてきました。後は増設を検討し、すぐにでも進めたいところですが、予算的にもなかなか余裕がありません。しかし、幸いにも、平成16年度には民設民営の保育園が戸田公園駅と戸田駅近辺に誕生します！駅周辺が明るく、安心と安全の町として賑わいそうな予感がします。



4月15日 友好交流推進委員会

戸田市と友好・姉妹交流をしている国内外の都市と地域、文化、慣習等の相互理解を深めるために毎年交流事業を行っています。今回、議題で問題になったのは、海外交流事業の派遣と受け入れについて、特に今年予定されている中国の開封市と濠州のリバプール市への中学生海外体験学習団の派遣をイラク戦争(テロの危険)およびSARSの影響により中止にすべきかどうかでした。開封へはその時点で3人の申し込みがあったものの定員に満たず再度呼びかけをせずに中止とし、リバプールにおいては様子を見ながら実施方向でという結論になりました。その後、中国中止の代わりにリバプール市派遣の枠を広げたものの、受け入れ先の方でSARS対し、神経質になっていることを派遣中止を決定した他市から聞き、楽しみにしていた生徒さんの気持ちを考えると残念ですが、予定を見送ることとなりました。一日でも早いSARSの撲滅を望みます。SARSに関する情報をホームページでもお知らせしています。

5月23日 第19回戸田市小学校陸上運動会

市内11の小学6年生全員参加の陸上運動会が戸田スポーツセンターで開催されました。各校との親睦を図れるとともに他校の良い動きも知ることができ、種目は全員参加の50mからスタートし、あとは100m走、50mハードル走、持久走(男子1500m、女子1000m)、走り幅跳び、ソフトボール投げ、400mリレーのどれかに参加し、それぞれきちんと記録をとります。歴代大会記録を見て驚いたのは、特に女子の記録！第4回大会の持久走で3'16"12と、第18回大会の幅跳びで男子で3m90のところ4mを記録しています。ちなみに今大会では記録をぬりかえることはできなかったようです。



戸田市議会議員 さいとう直子の 市政レポート

Vol.9



さいとう直子事務所 〒335-0023 戸田市本町5-2-20-1104 TEL.& FAX. 048(441)3625
ホームページ <http://Naoko-Sai.to> 直メール naoko@naoko-sai.to

議会運営の大変さ難しさを痛感しています。

平成15年戸田市定例会3月議会での一般質問

都市計画道路新曽川口線(通称オリンピック道路)と環境空間の整備について、また、障害児等に対する保健事業について一般質問しました(2・3頁をご覧ください)。

報告第9弾！ 市議としての体験報告です。

市議になって様々な現場へ出かけていき、人と出会い色々な経験をさせていただいています。少しでも私を通して議員の活動を知っていただければと報告していますが、皆さんからも貴重な意見を頂戴しますます情報公開が必要だと確信しています。これからも議員としての活動を報告して参ります(4頁をご覧ください)。



NEWS 女声バックコーラス募集！

～ 由紀さおり・安田祥子さんと一緒に歌ってみませんか～
戸田市文化会館では9月27日(土)公演「由紀さおり 安田祥子童謡コンサート」での女声バックコーラスを市民から募集します(参加費無料)。戸田市在住・在勤・在学の方で高校生以上の女性ならどなたでも。合唱経験は問いません。



- 合唱指導 戸田交響楽団音楽監督 笹崎榮一氏
- 予定楽曲 夏の思い出
四季の歌メドレー～早春賦・我は海の子・虫の声・冬の夜～
見上げてごらん夜の星を
- 練習日 8/30・9/6・9/13・9/20・9/27の毎週土曜日(予定)
文化会館3F練習室3にて(13～15時・9/27は午前中)
- 応募受付 7月1日(火)から7月31日(木)の1ヶ月間
休館日(水曜日)を除く、午前9時～午後6時に来館または電話にて申し込み。ファックスの場合は、24時間受付
- 本番の服装 上：長袖・白色ブラウス 下：黒色ロングスカート
(参加者ご本人でご用意ください)

戸田市文化会館 上戸田4丁目8番1号 TEL 445-1311 FAX 445-1310
私のホームページ(<http://Naoko-sai.to>)でも詳しく紹介しています！



暑い日が続きますが、
体調整え元気でお過ごし下さい。
さいとう直子がんばります！

都市計画道路新曾川口線について

埼京線が開通してから戸田市の世帯数が年々増加する中で、さまざまな形の質の良い住み方を望む市民が増え、住環境に対する意識が高くなっています。そして、身近なまちづくりについても、住民自らが主体的に参画しようとする動きが広がってきています。

一方、国全体の流れも、急速な都市化の時代を経て、安定・成熟した都市型社会の時代を迎えつつあり、地域の特性に応じた個性豊かな都市の整備に、身近な行政と地域住民とが一体になって本格的に取り組む環境になってきたようです。

都市計画も、こうした観点から全般的な見直しが始まりました。行政と住民とが一緒になって、新たな時代に対応した柔軟で実効性のある分かりやすい計画として、再構成されはじめています。具体的には、目指すべき都市像を「まちづくりのルール」として明確化し、規制緩和に合理性があれば柔軟に、都市計画上の規制内容を見直すことが必要になってきています。

市内の都市計画道路の中には、計画決定後20年たっても整備が進まない路線、県道のバイパス「新曾川口線(通称オリンピック道路)」があります。埼京線が開通する前の昭和58年に現況の県道から離れた位置に変更されたものの、今だ、整備の見通しがつかず、長期間にわたって規制のかけられた状態が続き、今後どうなるのか住民の方は不安を感じていらっしゃいます。



都市計画道路は将来の街づくりの根幹的施設として早期事業化が必要ですが、市の方針も市民も福祉政策の充実を切望している現在、県や市の財政状況の見直しも立たず、道路建設は緊急性のある必要最小限度に留めている状態です。昨年の6月、市の担当課と申し合わせて懇談会を開き、住民の方々の将来の生活設計が立ちにくい等の率直な思いや悩みを聞いていただきました。その時から半年以上がたったので、この道路は、県道のバイパスとして県に整備をお願いしているとのことですが現在の状況はどうで、今後、都市計画の廃止や変更の見直しはないのか質問しました。

都市計画部長から現実的には整備の見直しはついていないとの回答がありました。その理由として、現状の交通量は一日約13,000台程度あり、平成32年の将来交通量を推定すると約16,500台の交通量が見込まれる結果となり、一日概ね10,000台を超えるような計画交通量の場合には、片側2車線の4車線が必要で、駅前広場との関係からも、計画の見直しも廃止もできないとのことでした。

明確な数字で示されたものの、整備の見直しも立たず、変更もできないのであれば、住民にとって今までの

現状を再確認しただけに過ぎません。しかも、その道路には、将来の事業を円滑に行うため都市計画法の規制がかかっていて、木造か鉄筋等の二階建て以下の建物でないと許可されない内容になっています。20年以上ここに住んでいて建替え時期に来ていることもあり、住民の強い要望の三階建住宅を許可出来ないか訪ねたところ、建築物に関しては市に権限があるとのこと、三階建住宅の許可を平成15年度に実施するようにするとのことでしたが、答弁通り実際に6月1日から許可となりました。その他にも都市計画道路で見通しが立たっていない路線や、**県立戸田公園地区(同じく6月1日三階建て許可)**についても、住民の意見を聞きながら県に対し粘り強く要望するようお願いしました。

環境空間の整備について

JR埼京線に沿って、枕木と鉄線で囲まれた荒れ地状態の空間(環境空間)については、市長をはじめとする関係者の粘り強い努力により、平成11年に県および3市とJR東日本との間で「**環境空間の取り扱いに関する確認書**」が取り交わされ、有効活用が進められることになりました。戸田市では、平成12年3月に環境空間整備計画「**戸田華(はな)かいどう21**」を策定し、平成13年3月には五差路付近の環境空間にかじや緑地が誕生しました。



そこで、戸田公園駅周辺で進められている緑地整備の現在の状況と今後の見通しについて質問したところ、戸田公園駅と戸田駅間の環境空間を結ぶ整備を行う一方、戸田公園駅南側は「**心の中山道**」を基本コンセプトにしていることから、今年の中山道400周年に絡め、戸田南小学校児童の展示施設や案内版、サイン、句碑ポートコースにちなんだモニュメント等、様々な事業を予定しているとの回答がありました。

今後ますます整備が進められ、緑でいっぱいになるのはうれしいことですが、整備された緑地や緑道をいかに維持していくかが心配になります。既に整備されたかじや緑地については、鍛冶屋町会の皆さんが維持管理して下さっていますし、戸田駅近くの花壇は市の職員がチームを作って見て下さっています。そこで、今後整備が進んでいく環境空間の緑地、緑道の維持管理についてどのように考えているのか質問したところ、住民ボランティアに託したいと考えているとの回答を得ました。維持管理だけでなく、緑道の飾り付け等にも地域の人々のアイデアを集めていくなど、この環境空間の緑地緑道が地域のコミュニケーションの場となり交流の輪が広がっていくと完成もますます楽しみになります。市に対しては、そのための後押しをお願いしました。



障害児等に対する保健事業について

乳幼児期からの適切な治療・訓練は障害のあるお子さんの発達に効果があり、その点、戸田市の乳幼児健診は様々な障害に対して早期発見・早期対応を行うように準備されていますが、重い障害をもつ乳幼児を育てる親御さんの場合、障害の診断を医療関係者から受けた後に、子どもの発達段階にあわせた保健サービスと発達の遅れをサポートする福祉サービスを受けようとすると、関係する窓口ごとに子どもの状況について同じ説明を求められる場合や、各々の窓口ではそこが専門とするサービスの説明は聞けても他の窓口にまたがるサービスについては一括した説明を受けにくい場合があります。じれったさを感じる方もおられるようにも見受けられます。

そこで、保健部門が関わる障害が重く外出もままならないお子さんの事例数がどの程度あるのか、発達の遅れあるいは重い障害を持つお子さんに対し提供されている保健サービスと、一連の流れのどこに親御さんがじれったさを感じさせる要因が潜んでいると分析しその解決に向けてどのような対策を検討しているのか、などについて質問しました。

毎年数例ある事例のほとんどを主治医が定期的に状況把握していることで、乳幼児健診というよりも相談事業の充実には留意していること、さらに、訪問リハビリテーションを訪問看護に平行する方式で平成12年度より実施しているとの回答を得ました。また、じれったさを感じさせる要因については、責任ある情報収集・情報提供を行う上で現況の方法はやむを得ない場合があるとしながらも、障害が重いために外出もままならない状況で少しでもわが子を回復させてやりたいと切望している親御さんの立場に立って是正されることが必要だと思ふとの認識が示されました。

NEWS!! ワークショップに参加しませんか?

市民と市職員と一緒に暮らしやすい地域づくりを進める実験活動・ワークショップ「市民活動プロジェクト」が戸田市で始まりました。私も先日行われた初会合に参加しましたが、参加者の意気は高く、楽しくこれから期待できると感じました。引き続きメンバーを募集しています。策定作業を体験しながら、わいわい楽しく私たちのまちづくりに参加しませんか!

- 11月にかけて実施される市民活動プロジェクト(8チーム)
- ・みんなが使いやすい福祉センターにしたいプロジェクト
- ・地域福祉の大地をつくり風を吹かそう
- ・e-Todaまちづくり市民案作成プロジェクト
- ・もしもの時、困った時に助け合える戸田をつくろう
- ・となり組いきいきクラブ
- ・公共施設を探検し隊
- ・見たい、知りたい、イベントだい!
- ・日本一大きな掲示板

申込み方法: 電話、ファックス、メールなどで、あるいは、下記問い合わせ先まで直接お申し込みください。

問い合わせ先: 戸田市役所福祉課福祉企画担当(小沼さん・篠原さん)
TEL 441-1800(内線606) FAX 444-5588
メール td-1603@city.toda.saitama.jp



「さいとう直子の市政レポート」は、パソコンとインクジェットプリンターで自作しています。

保健・福祉・医療が情報を共有し提供するチームケアをぜひ実現するよう重ねて要望

その上で、そのような配慮を行っている具体的な試みの一つとして、診療室小児科医師・理学療法士・作業療法士・保健師・発達相談員・児童福祉ケースワーカー・障害福祉ケースワーカー・訪問看護担当看護師等から構成され、支援体制の連携を相互に図りながら障害のある児童への具体的な支援の手だてやサービス提供方法の改善など今後のよりよい方策を研究していく「**在宅療養児童支援連携協議会**」が紹介されたので、この協議会で何を協議しその後どう対応するのか、また、障害のある児童に対する保健サービスの全体像と成長段階にあわせた保健サービスをどのように提供しているのかについて、質問しました。

まず、協議会については、現行サービスを見直しながら保健・福祉・医療の各方面から総合的に支援するサービスを行うための課題を障害のある各児童ごとに共有し各部署でチーム対応することで、スムーズな窓口対応と親御さんにとって保健と福祉の一体的な利用ができるようになるとの回答がありました。次に、保健サービスについては、全体像を把握した上で個別の対応を知りたいという親御さんの心情は当然のことと理解しながらも、サービスを説明することで、我が子の状態を「障害」として認め難い心情の親御さんに児童の障害が固定することを示唆する可能性があるの、説明には慎重を期したいとの回答でした。

在宅療養児童支援連携協議会について保健・福祉・医療が情報を共有しチームケアを提供していくことを目的にしていると理解したので、これについてはぜひ実現するよう重ねて要望しました。